

第20回 就職交流会 実績およびアンケート結果

■実施日：2017年1月13日（金） 13時30分～16時45分

■参加数：企業51社（80名）／47大学（70名） 計150名

参加内訳（大学）

国公立 (26)	茨城大学、大分大学、大阪大学、九州工業大学、群馬大学、高知工科大学、神戸大学、埼玉大学、滋賀県立大学、首都大学東京、信州大学、千葉大学、筑波大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、東京農工大学、東北大学、名古屋大学、広島大学、北陸先端科学技術大学院大学、北海道大学、三重大学、室蘭工業大学、山口大学、横浜市立大学、横浜国立大学
私立 (21)	岡山理科大学、学習院大学、神奈川工科大学、金沢工業大学、関西大学、北里大学、近畿大学、慶應義塾大学、工学院大学、埼玉工業大学、上智大学、成蹊大学、千歳科学技術大学、中央大学、東海大学、東京都市大学、東京農業大学、東京理科大学、日本大学、龍谷大学、早稲田大学

参加内訳（企業） *・・・複数参加

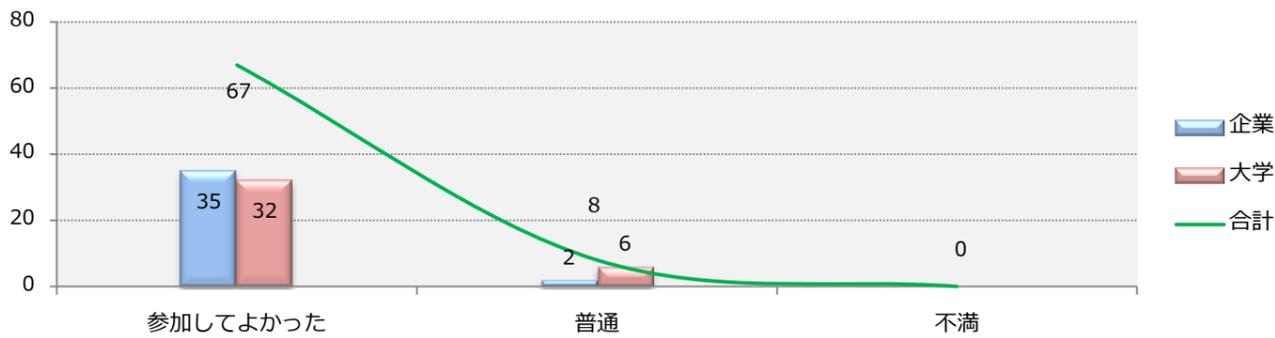
アキレス(株)、(株)ADEKA*、イハラケミカル工業(株)、宇部興産(株)*、エヌ・イー ケムキャット(株)*、大塚化学(株)、花王(株)*、カーリットホールディングス(株)、関東化学(株)*、(株)キヤタラ*、群栄化学工業(株)*、K H ネオケム(株)*、コニカミノルタ(株)、JSR(株)、JNC(株)*、四国化成工業(株)、昭和電工(株)、住友大阪セメント(株)*、住友ベークライト(株)、大正製薬(株)、タキロン(株)*、T D K(株)、D I C(株)、(株)テクノプロ テクノプロ・R&D社*、デンカ(株)*、(一財)電力中央研究所*、東亜ディーケーケー(株)*、東罐マテリアル・テクノロジー(株)*、東京応化工業(株)*、東ソー(株)*、東洋アルミニウム(株)*、東レ(株)、ナガセケムテックス(株)*、日油(株)*、日産化学工業(株)*、日宝化学(株)*、日本ケミコン(株)*、(株)日本触媒、日本バイリーン(株)*、(株)パイロットコーポレーション、日立化成(株)*、富士フイルム(株)、(株)プリチストン、保土谷化学工業(株)、マナック(株)*、三井化学(株)、三菱ガス化学(株)、(株)ミマキエンジニアリング、有機合成薬品工業(株)*、(株)リガク*、和光純薬工業(株)、
--

■アンケート結果

実施方法：参加者にアンケートフォームをメールにて送付。

回答数／配布数：大学 38／70 、 企業 37/80

■就職交流会の満足度について



■就職交流会の満足度について（コメント）

▼企業側

これまであまりお付き合いのない大学の先生方と交流することができ、大学側のニーズをお伺いすることができたため。
これまでに交流がなかった研究室の教授とコネクションができたから。
これまで関係のなかった（薄かった）大学の方とお会いできたので
これまで採用が少ない大学の先生とも名刺交換ができた。
たくさんの大学の先生とお話することができました。
各大学の学生の志向性について、最新の傾向を知ることができた。各大学の学内説明会等のスケジュールを確認できた。当社の自社説明会について興味関心を持って聞いていただき、一定の告知効果を得られた。
各大学の就職担当の先生と効率的に顔合わせ、情報交換できたため。
企業アピールだけでなく大学における他社企業動向も確認できる良い機会であった。
教授の皆様と情報交換をできる有意義な機会でした。
個別に連絡をとると難色を示すことが多い大学教授と、好意的にやり取りをすることができたため
個別の学内セミナーへの対応可否について、就職担当と直接相談させてもらった
交流の機会のなかった大学の就職担当の教授方と出会えて、有意義な時間を過ごせたため、参加して良かったです。
今まで採用実績のなかった大学様ともご挨拶でき、関心をお持ちいただけたこと、今後のきっかけとなる機会となったことです。
先生方との双方向の密な情報交換ができたため。
全国の就職担当者とお会いすることが出来たから。また短時間で効率的に名刺交換できたことも大変良かったです。
多くの就職ご担当教授とお会いすることができました。各大学にご挨拶に回るにもマンパワーに限界があり、今回のように教授と企業が効率よく話ができる機会は大変ありがたかったです。
多くの就職担当教官と挨拶ができた為。
多くの大学の教授方と名刺交換、また自社をアピールする機会が持てたので非常に満足しております。
多くの大学の先生方にご挨拶ができたので。
大学・学科の就職活動に関する考え方が直接伺えたので、企業側としての適切な対応方法がよく理解できたため
大学との繋がりが無い、薄い企業にとっては非常に有効な交流会でした。特に化学系の教授に絞っている点が話が早く助かります。

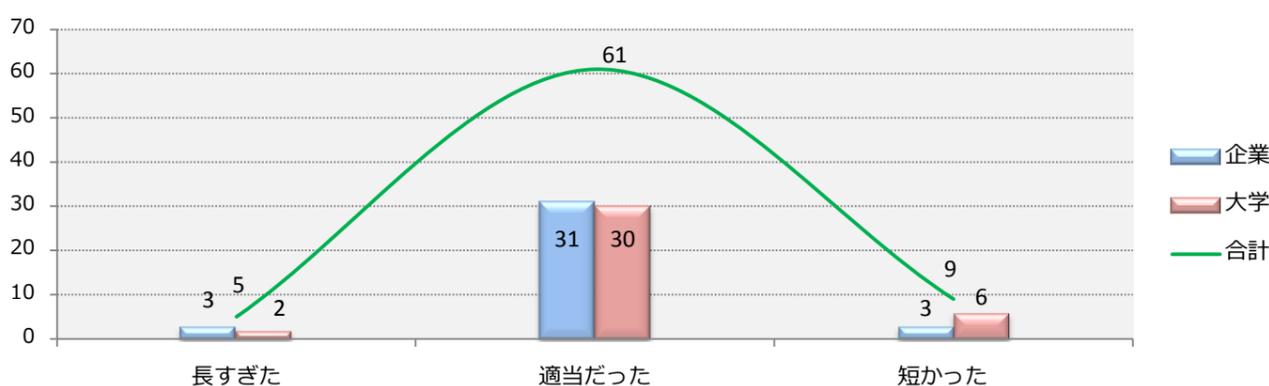
第20回 就職交流会 実績およびアンケート結果

大学との情報交換により有意な情報を得ることができたから
大学の教授とのつながりをもてたので。
大学の先生と交流できる貴重な機会です。
大学訪問の手間が省け、一度に多くの大学教授、就職担当者の方と、お話をさせていただける機会を得ることができたから。
大学訪問を主体として採用活動を行っていますが、物理的に中々訪問出来ない大学の先生と効率的に情報交換出来る機会を頂けて非常に良かった。
短時間でたくさんの関係者と情報交換が効率的にできたため。
短時間で多くの先生方と交流できたため。
当社は初めて参加いたしましたが、主要大学の先生にお会いし、有意義な意見交換を行うことができたため
理系大学（有力校）の就職担当教授の皆様が一同に会える機会が他になく、弊社の知名度向上や採用時の母集団形成等に非常に有効なため。
5階・6回のブース配置が訪問しやすい配置になっていた。中央で順番待ちもできた。

▼大学側

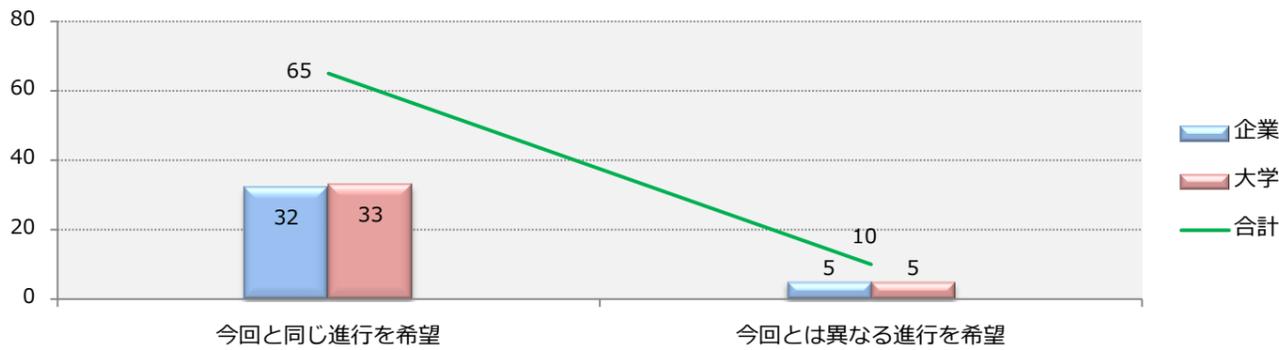
短時間で、これだけ多くの企業様と情報交換できるのは効率的です。また、他の大学との接点としても有効でした。
2部制で大学が後であると暇な大学と忙しい大学に差が出る（企業も同じかもしれないが）、2部制にするのであればもう少し時間を短くしてもよいかと思う。
いろいろな企業の方と知り合えたため。
これまでにあまり交流の無かった会社様との情報交換ができたため。
これまで縁の無かった企業の方とお会いする機会が持てたため
これまで繋がりなかった企業と知り合えたので
これまで連絡を取り合っていなかった会社に対して挨拶することができ、今後大学に対する求人資料送付を依頼できました。また、会社での推薦書の取り扱いや、選考基準について尋ねることができました。
たくさんの企業人事部の方が参加しており、情報を集めることができた。
化学系企業だけでこれほど多くの企業が集まる会もないので、非常に良い情報交換になった。
何社かの企業と、かなり具体的に採用情報に関して情報交換ができた。また、直接面談することでしか得られないような非公開情報も得られた。
企業のことを深く理解する事はできないので、名刺交換が主の業務になった。
企業の採用担当の方の意見を伺うことができた。
現時点において化学系の企業がどのような材料を作っており、またどのような人材を欲しているかが、ある程度分かったので良かった。また、一度に多くの企業と話し合えたことも良かった。
考えていたよりも多くの企業の方々と示唆に富んだ情報交換をすることができた。
今回の進行では、大学側が回った後で、大学の窓口に来なかった企業がかなりあったように思います。これは大学の教員が、企業にお願いをするためのイベントでしょうか？大学としては検討するのですが、研究と教育に取り組んでいる教員にこのようなことを強要するイベントは個人的には賛同していません。依頼で、趣旨を知らずに出席していますから、知らなかっただけだと思います。
今年はじめて参加させていただきました。普段面識がない企業と面談をすることができて満足しました。
就職が決まった企業に挨拶ができた。本学での会社説明会の依頼と案内ができた。
想像していたよりも多くの企業の方と交流できました。
多くのお企業の担当者と一緒に挨拶ができる機会はなかなか得られないから
多くの企業と情報の交換ができた。また、特に修士学生を対象とした情報を得ることができた。
多くの企業の方とお話できたから。また、企業の方とお話し、どのような学生を欲しがっているかを良く理解することができたから。
多くの企業様と名刺交換と今期の情報交換ができて大変有意義でした。
多くの方と情報交換できた。
多数の企業と直接話ができて、良かったです。1社1社と時間制限なしで、話せたのが良かったと思います。
大分からの参加になります。大手企業さんに加えて、関東地域の中堅企業の人事の方とお話ができ、また、最新の大学の教育改革の様子的一面をお伝えすることができました。但し、一社あたり15分程度かけてしまい、十分な数の会社の方とは、交換ができなかったことが悔やまれます。
当学科・専攻を知って頂く良い機会となった。
普段、接点のない会社の人事の方と名刺交換ができたこと。

■就職交流会の時間（13：30～16：45）について



第20回 就職交流会 実績およびアンケート結果

■ 交流会（名刺交換会） について



▼「異なる進捗を希望」と答えた方へお願いします。ご希望をお教えてください。（企業側）

1回の会話の長さを区切って頂きたいと感じました。何度か同じ人事担当者の方がお話ししているのを待つことがあり、その方のお話が少し長いのではないかと感じたためです。

一部の大学に集中してしまうこともあり、ある程度時間を区切っていただくことも必要かと思えます。参加企業のPR文などをまとめて事前に大学側にお渡しいただくと、振り返る時にも役立つのではないのでしょうか。

概ね良いのですが、次に誰が挨拶できるのかわからなかったため、誰が並んでいるのかわかるようにしていただけるとよいのではないかと思います。（お見合いしてしまう場面が何度かありました。）

企業側の訪問時間を2時間、大学側の訪問時間を1.5時間などにご設定頂けると、もう少し多くの就職担当教授の皆様にご挨拶できたかと思えます。

大学数と企業数に差があるためか、お話しを伺うまでに待ち時間が長かったです。多くの大学担当者様とお話ができるような進捗にさせていただけると助かります。

▼「異なる進捗を希望」と答えた方へお願いします。ご希望をお教えてください。（大学側）

企業側に対して大学側が回る時間をもう少し長くしてほしい。今回は企業側固定と大学側固定がいずれも1.5時間であったが、2時間、1時間の方が対応しやすい。ただ、本学は必ず2名以上で参加しているが、企業側との情報交換する時間としてはまだ1.5時間では短い。

今回とほぼ同じで結構ですが、開始を15分でも30分でも早くして時間を延長してもらえないでしょうか。

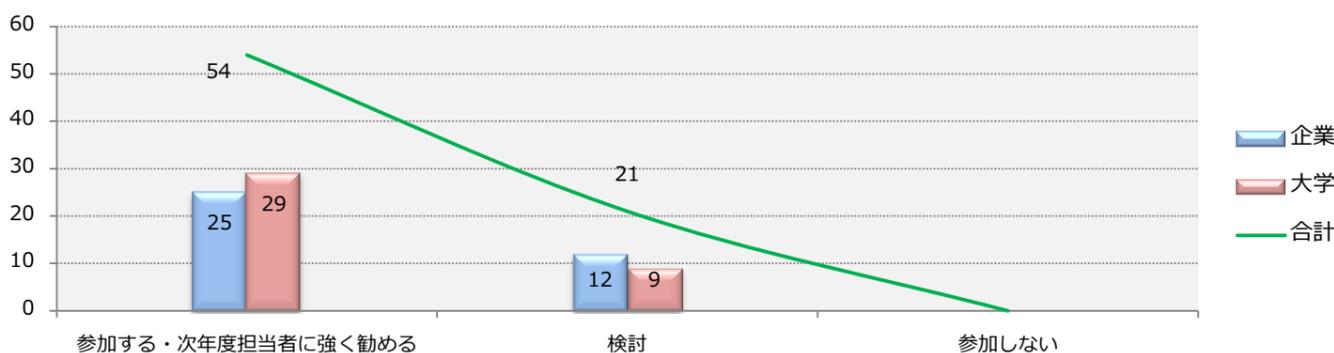
順番の都合もあるのですが、大学の窓口に来ない企業もかなりあるようです。大学の教員が各企業にお願いに回る（企業は来た大学のみ相手をする）というのはいかがでしょうか？

大学からの視点になってしまいますが、前半と後半を入れ替えて頂けると、更に効率良く進めることができます。

第一部と第二部を交換し、第二部を長くしてほしい。企業の方が、希望する大学に行った方がミスマッチ（弱小大学が大手企業に挨拶する）を防ぎ、有益な時間になる。各大学2人に絞ってほしい。大きな大学が幅をきかせていた。大手大学と弱小大学は階を分けた方が良い。大手企業の人の対応があからさまだった。別に50音順で大学名を順序づける必要はないのでは？

年によって順番を逆にすることを望む

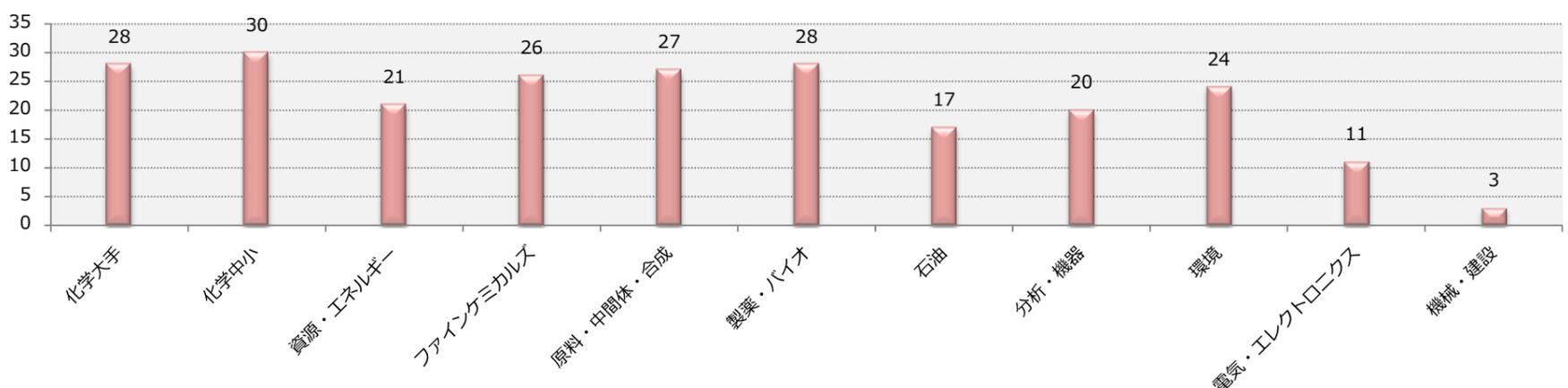
■ 次回の交流会に



■ 今回出席した大学以外に出席を希望される大学があればご記入下さい。（企業側のみの設問項目）

東京大学、京都大学、富山大学、金沢大学、福井大学、京都工芸繊維大学、名古屋工業大学、九州大学、長崎大学、熊本大学、地方国公立大学、医薬関連の大学

■ 本交流会で主にどのような業種の企業と交流を深めたいですか。（大学側のみの設問項目）



第20回 就職交流会 実績およびアンケート結果

■採用活動に関して、お困りの事や、希望するサービス・情報等がございましたらご記入ください。

企業側

化学系(理系)の女性を対象としたイベントがあればいいと思います。
研究系インターンシップに関する学生と企業のマッチングサービスなどがあれば、ぜひ活用を検討したい。
大学により出席する意味合いが異なっていたような印象を受けました。やはり就職担当の教授+大学職員（キャリアセンターのかた）で来られている大学のほうが積極的であり話をしやすかったです。逆に前向きでない印象を受ける教授もいたので疑問を感じました。
実際は、もっと多くの方と交流したかったが、時間/スペースの面から難しいのだろうと思われた。
健康関連分野に当社として注力しているので、そのような関連の大学とも意見交換を行いたい
大学就職担当者、教授から、学生へ企業の紹介をしていただけるのは、非常に有効であると考えています。ナビサイトでの採用には、限界があるかと思しますので、今回のような機会は非常に有意義でした。しかし、今回の交流会に関して修正点をあげさせていただくとしたら、今回は「就職担当者」との名刺交換会といった名目での実施だったと思います。この「就職担当者」が、キャリアセンターの方なのか、大学教授なのかで、説明する内容が異なり、当社から参加する者の人選が異なるのかと感じました。
名刺交換できなかった大学にも資料を持って帰ってほしい。
知名度が低く、またOBが少ない為、学生に認識してもらうのが難しい。今後とも積極的に採用活動を行いますのでご協力の程、宜しくお願い致します。色々お世話になり、誠にありがとうございました。

大学側

学会としてこのような活動をしていることは大変素晴らしいと思います。
マイリティ（つまり、博士後期課程学生、留学生、理系女子学生など）に特化した就職交流会なども企画されると良いと思います。
学生向けのイベントの情報にももっと耳を傾けなければならないと思いました。また、大学の就職担当者向けのイベントにもっと参加できればと思っています。情報をもっと取り入れるようにいたします。
採用して数年経過した学生に関する企業の評価を大学教員にfeedbackして欲しい。
多くの学生を一同に集めて行う、会社説明会が広く行われている。学生は会社説明会に参加する事が求められている。地方の学生にとって、大人数の会社説明会に参加する事は負担が大きい。大人数を相手にする説明会をインターネットの動画配信等に変えて行って欲しい。日本化学会が主導して、政府に働きかけて欲しい。
今回得た情報をどのように学生に伝えようか思案しています。
博士後期課程の学生は、経団連のルールとは無関係に就職活動することになるが、情報はあまりオープンではない。今後も博士学生の採用はぜひお願いしたく、情報を頂戴できればありがたい。

■参考）就職交流会の参加数の推移

